

目 玉 焼 き

分類：盛り上がるゲーム

人数：(3 の倍数 + 1)

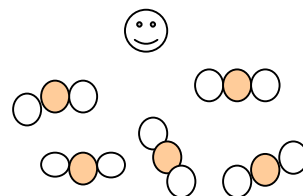
体型：参加者 3 人一組(自由な位置で)

ゲームの説明：参加者は、料理長を一人決め、残りは 3 人一組になる。 両端の 2 人は手をつなぎ、その中に 1 人がしゃがんで入る。しゃがんでいる子は「黄身」、両端の 2 人は「白身」、3 人まとめると「目玉焼き」とする。「黄身」「白身」「目玉焼き」の何れかを料理長が言うと、それに該当する子が移動して、新しい目玉焼きを作る。半端になった子が次の料理長になる。これを繰り返す。

注意点：はじめに、お手本を見せる。

料理長は大きな声をだすようアドバイスする。

料理長になった人には自己紹介等をしてもらったりして盛り上げる。



【実践例】

Leader：次は『目玉焼き』をします。今の 3 人組で立って下さい。

(前に出てきてもらった余りの子には「まだここにいてね。」と声がけをする)

(全員が立ったのを確認してから)

Leader：3 人のうちで、2 人は『白身』です。『白身』は『黄身』を囲むように両手を繋いで下さい。

(前でリーダーに見本をしてもらう。向かい合って手を伸ばし、伸ばした両手を繋いだ状態)

Leader：残りの 1 人は『黄身』です。『黄身』は『白身』の 2 人の間に入ってしゃがんで下さい。

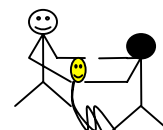
こんな感じです。

(見本のリーダーの方を見てもらう)

Leader：この、3 人をまとめて『目玉焼き』と言います。

『黄身』と言ったら、黄身の方は白身から抜けて別の白身のところに入って下さい。(リーダー見本)『白身』と言ったら、白身の方は手を離して、それぞれ別の黄身のところで新しく『目玉焼き』を作して下さい。(リーダー見本)『目玉焼き』と言ったら、全員バラバラになって、新しく 3 人組を作して下さい。(リーダー見本) その時に、白身だった人が黄身になっても、黄身だった人が白身になってもいいです。

(前でリーダーが 3 組『目玉焼き』を作って、そこで見本をしてもらう)



Leader：今から、『黄身』『白身』『目玉焼き』のどれかを言うので、一度やってみましょう。

(全員がわかったか確認する。わからない子がいるときは、もう一度練習をする。)

Leader：分かりましたかー?? では、今度は本番です。○○さん(半端になっていた子)にどれか一つを言ってもらいましょう。できるだけ同じ人同士で「目玉焼き」を作らないようにがんばっていきましょう。では○○さん、お願いします。「・・・」

(半端な子がいないときは、リーダーが入って人数調整をする)

(目玉焼きになれなかった子には、自分の名前、学年、少年団などを言ってもらう。言ってもらった後「さんでしたー」と言って拍手。)

Leader：では、次いきまーす。(さんに、次を言ってもらう。)

(最後→「じゃあ さんで最後です!」)

Leader：では、これで「目玉焼き」を終わります。。)

実践後気づいたこと： 団員の中にルールを知っている子がいたので上手くいったが、分からない子ばかりだったら練習が必要だったと思う

説明に欠けているところがあり、フォローのリーダーに補ってもらった。

上手くまとめられずガサついた雰囲気になってしまった。→間の取り方の問題?